

経済建設委員会会議録

開催年月日	平成 28 年 8 月 17 日 (水)	場 所	議会委員会室
案 件	事務調査第 3 号「農業担い手対策の実態について」		
出席委員	黒岩委員長、石上副委員長、大栗委員、宇治委員、佐藤委員、広瀬委員		
欠席委員		事 務 局	澤田
オブザーバー		傍 聴 者	
説 明 員			
開 会 時 刻	1 3 時 2 8 分	実 会 議 時 間	1 時 間 2 4 分
		休 憩 時 間	時 間 分
閉 会 時 刻	1 4 時 5 2 分	延 会 議 時 間	1 時 間 2 4 分
次 回 日 程	未定		
要 点 記 録	<p>< 概 要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の中には最初に 4 ha の農地を持たなければならないと言っていたが、(富良野の農業委員会は原則として 2ha が最小単位) 本州の経営感覚の農家の人との部分に大きなズレがある。富良野は独自のルールで特別に園芸系の時だけは 5 反でもいいという形にしていくというふうにするのか、整理すべきである。 ・4ha 全部使う農業の方法もあるだろうけれど、メロンとミニトマトでやろうというのであれば、そういう基準ではちょっとマッチングしてないのではないか。4ha だと 1ha はハウスか何かでやって残りの部分というのはこういう有効な使い方があると指導していくことも必要ではないか。 ・新規参入の移住者は、物を作るかどうかというよりは自己実現のために来る。そこで、農業をやるにしても商売するにしても、やっぱり自分でやりたいものがあって移住してくるという人が多い中で、新規就農者は自分の身の丈に合った自分でできる範囲のところから始めたいと思っている。初めから大規模ありきではなく臨機応変に、夢を叶えてあげられる、地域の考え方もそこに入れられるような柔軟な体制が取ればよい。 ・大規模に法人として参入する場合や 1 個人として参入する場合など多様な受け皿はあるべきである。 ・新規参入にあたっては、土地と水と住まいの問題を三つセットに行政は考え、特に住まいの問題は重要と考える。 		

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

経済建設委員長 黒岩岳雄